

## 食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

### ○遺伝子組換え食品

#### オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、「Séralini 論文への対応」と題する消費者向け情報を公表

公表日：2013年11月29日 情報源：オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)

<http://www.foodstandards.gov.au/consumer/gmfood/seralini/Pages/default.aspx>

オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)は、「Séralini 論文への対応」と題する消費者情報を公表した。概要は以下のとおり。

1. 2012年9月に、Gilles Eric Séralini 教授及び共著者は Food and Chemical Toxicology 誌に研究論文を発表した。2013年11月29日、Food and Chemical Toxicology 誌は、この論文の撤回について、次のように述べている。

Food and Chemical Toxicology 誌は、2012年11月に掲載された論文「ラウンドアップ除草剤及びラウンドアップ除草剤耐性遺伝子組換えトウモロコシの長期毒性」を撤回する。この撤回は、当該論文の査読者に対する調査に加えて論文の記載内容及びデータを綿密かつ時間をかけて分析した結果行われたものである。編集長は、この調査が完了し、著者らに通知するまでこの論文に関する公の発言を控えていた。

2. FSANZ は、2012年12月に当該研究への対応を公表した。概要は以下のとおりである。

Gilles Eric Séralini 教授及び共著者は2012年9月、遺伝子組換えトウモロコシ NK603 及び/又はラウンドアップ(グリホサート)を給与された実験用ラットの寿命が短くなることを示唆する研究を発表した。本研究の方法論及び解釈上に多くの疑問点が存在するために、報告された研究結果及び研究結果から導かれた結論の妥当性には限界がある。2012年10月に FSANZ は、著者らに対してオリジナルのデータを提供することを要求した。しかし、Gilles Eric Séralini 教授及び共著者は提出しなかった。当該研究において確認された多くの科学的欠陥に基づき、FSANZ は著者らの結論を認めておらず、NK603 の安全性を再評価する正当な理由とはならないと結論付けた。

### ○関連情報

#### 1. 当該論文のレビュー

食品安全委員会、ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、カナダ保健省及び欧州食品安全機関(EFSA)は、当該論文のレビューを行っており、いずれの機関も当該論文の結論を否定している。

(1) 食品安全委員会：2012年11月12日 公表 <http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20121112sfc>

(2) ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)：2012年10月1日 公表

[http://www.bfr.bund.de/en/press\\_information/2012/29/a\\_study\\_of\\_the\\_university\\_of\\_caen\\_neither\\_constitutes\\_a\\_reason\\_for\\_a\\_re\\_evaluation\\_of\\_genetically\\_modified\\_nk603\\_maize\\_nor\\_does\\_it\\_affect\\_the\\_renewal\\_of\\_the\\_glyphosate\\_approval-131739.html](http://www.bfr.bund.de/en/press_information/2012/29/a_study_of_the_university_of_caen_neither_constitutes_a_reason_for_a_re_evaluation_of_genetically_modified_nk603_maize_nor_does_it_affect_the_renewal_of_the_glyphosate_approval-131739.html)

(3) カナダ保健省：2012年10月25日 公表 <http://www.hc-sc.gc.ca/fn-an/gmf-agm/seralini-eng.php>

(4) 欧州食品安全機関(EFSA)：2012年11月28日 公表 <http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/121128.htm>

#### 2. 当該論文の撤回に関する記事

(1) 食品安全委員会メールマガジン 349号：2013年12月17日配信

お知らせ(遺伝子組換えトウモロコシ NK603 系統の毒性発現に関するセラリーニ論文取り消しについて)

[http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e-mailmagazine\\_349.html](http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e-mailmagazine_349.html)

(2) Elsevier (Food and Chemical Toxicology 誌の出版元)：2013年11月28日付け記事

<http://www.elsevier.com/about/press-releases/research-and-journals/elsevier-announces-article-retraction-from-journal-food-and-chemical-toxicology>

(3) Nature 誌：2013年11月28日付け記事

<http://www.nature.com/news/study-linking-gm-maize-to-rat-tumours-is-retracted-1.14268>

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>) をご覧下さい。